

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岩美町立岩美南小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒681-0065
鳥取県 岩美郡 岩美町 新井 419-2
E-mail iwamis-e@mailk.torikyo.ed.jp
Website http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/iwamis-e
幼児児童生徒数 男子 79 名 女子 66 名 合計 145 名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校では、ESDの実践を通して、地域の自然や文化にかかわること中で、多面的、総合的に考える力の育成を目標とした。

具体的には、環境学習、地域の文化に関する学習の2つを柱に、①山陰海岸ジオパークに係わる活動、②環境教育に係わる学習、③地域の伝統文化に関わる学習、④地域の産業に関わる学習を行った。

① 山陰海岸ジオパークに係わる活動 (5年生)

浦富海岸や城原海岸、玄武洞などの山陰海岸ジオパークの見学・学習をした。その地形の成り立ちについて学ぶことで、自然の大切さや美しさを感じることができた。また、現在やこれからのジオパークの姿を想像することで、ゴミ問題や温暖化といった環境問題にも目を向け、これからの自分たちの生活のあり方についても考えることができた。

② 環境教育に係わる学習（３年生・５年生）

岩美町に流れる小田川・荒金川の水質汚染とその後の環境を守る地域の取り組みについての学習を行った。３年生では、サケの稚魚の飼育・放流を通して、環境問題にふれるとともに、ふるさとの山や川を保全することの大切さを学んだ。また、川をきれいにしようと呼びかけるポスター作りも行った。その発展として、５年生では、社会科において荒金鉱山について学習した。かつて鉱山から流れる汚水が川を生物の住めない川にしていたという歴史を学ぶことで、環境保全への関心を高めた。

③ 地域の伝統文化に関わる学習（４年生）

校区内に昔からの残る「横尾の棚田」「鬼の枕」「傘踊り」「岩井温泉（ゆかむり歌）」などの文化について調べる学習を行った。文化が受け継がれてきた方法や、携わる人の思いに触れることで、文化を守ってきた人への尊敬の念や自分たちの手で文化を伝えていきたいという気持ちを持つことができた。

④ 地域の産業に関わる学習（３年生）

岩美町の特産品の１つである梨を育てる学習を行った。梨作りの作業工程を学び実際に育てることで、１つの梨を作るためにたくさんの苦労があることを感じるとともに、果実を育てる達成感を持つことができた。また、地元のＪＡの方や高校生にも協力していただくことで、感謝の気持ちを持って活動することができた。



① の写真（キャプション）



② の写真（キャプション）



③ の写真（キャプション）



④ の写真（キャプション）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16.ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は、今年度特に人権教育に取り組んでおり、ＥＳＤの活動分野である人権・平和の視点で、教科横断的に指導を進めている。また、各教科・領域の年間指導計画を元に本校版のＥＳＤカレンダーの作成に取り掛かっているところである。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校教育の重点目標として、ＥＳＤ（ユネスコスクール）の推進を掲げ、人権尊重、生命尊重を意識した教育活動に取り組んだ。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

人権尊重、生命尊重を意識した言動について、児童アンケート、生活アンケートのどちらも９０％を超える肯定的評価を得た。しかしながら、教職員の評価は６０％程度にとどまりＥＳＤ（ユネスコスクール）についての研修不足がそのまま数字に表れた結果となった。校内研修にしっかり位置付けたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校評議員会(学校関係者評価)において、学校自己評価を提示し、ESDの取り組みについて報告を行った。また、保護者を対象とした全体会でも報告を行った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

ESDとしての連携ではないが、鳥取県国際交流財団による異文化体験講座や鳥取環境大学による出張英語村、地域内の「魚を蘇えらせる会」との連携による鮭の飼育・稚魚放流など他団体と連携した教育活動を行っている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

できていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ESD（ユネスコスクール）の視点で教科横断的に教育活動をとらえ直すいい機会となった。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

■国際理解

- ・外国の方（英語村など）を招き、生活や文化の違いについて学習し、交流する。（4・5 年）

■世界遺産

- ・山陰海岸ジオパークを見学し、自然の美しさや生物の多様性について学習する。（2・5 年）

■環境

- ・サケの稚魚の飼育・放流を通して、環境問題にふれるとともに、ふるさとの山や川を保全することの大切さを学ぶ。（3 年）

ESD カレンダーの作成に努める。